

# 取扱説明書

---

## DCC-NETOU

DCC ネットワークオペレーションユニット

DCC Network Operation Unit

---





1<sup>st</sup> Edition - Rev.2






## 使用上の注意

安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください。




### [電源電圧・電源コード]

 禁止	指定電圧以外の電源電圧は使用しないでください。
 プラグを抜く	電源コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つく恐れがあります。コードが傷ついたまま使用すると、火災や感電の原因になります。
 注意	電源コードに重いものをのせたり落としたりしてコードを傷つけないでください。コードが傷ついたまま使用すると、火災や感電の原因になります。
 注意	電源コードの被ふくが溶けたり、コードに傷がついたりしていないか、定期的にチェックしてください。





### [設置]

 必ず行う	感電を避けるためアースをとってください。
 禁止	アースは絶対にガス管に接続しないでください。爆発や火災の原因になることがあります。
 注意	電源コードのプラグおよびコネクタは奥までしっかりと差し込んでください。


### [内部の設定変更が必要なとき]

 必ず行う	電源を切ってから、設定変更の操作を行ってください。電源を入れた状態で設定が必要な場合は、サービス技術者が行ってください。
 触らない	過熱部分には触らないでください。やけどをする恐れがあります。
 注意	パネルやカバーを取り外したままで保管や使用をしないでください。内部設定終了後は必ずパネルやカバーを元に戻してご使用ください。


## [使用環境・使用方法]

 禁止	高温多湿の場所、塵埃の多い場所や振動のある場所に設置しないでください。使用条件以外の環境でのご使用は、動作の異常、火災や感電の原因になることがあります。
 禁止	内部に水や異物を入れないでください。水や異物が入ると火災や感電の原因になることがあります。万一、異物が入った場合は、すぐ電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて内部から取り出すか、販売代理店、サービスセンターへご相談ください。
 禁止	筐体の中には高圧部分があり、感電の恐れがあります。通常はカバーを外したり分解したりしないでください。
 禁止	通風孔を塞がないでください。この機器を正常に動作させるために、適量の空冷が必要です。機器の前面と背面は、他の物から 5cm 以上離してください。


## [運搬・移動]

 注意	運搬時などに外部から強い衝撃を与えないように注意してください。機器が故障することがあります。機器を他の場所へ移動するときは、専用の梱包材をご使用ください。
---	---


## [異常時の処置]

 必ず行う	電源が入らない、異臭がする、異常な音が聞こえるときは、内部に異常が発生している恐れがあります。すぐに電源を切り、販売代理店、サービスセンターまでご連絡ください。
---	--

## [ラック取付金具、アース端子、ゴム足の取り付け]

 必ず行う	ラック取付金具、アース端子、ゴム足を取り付ける場合は、必ず付属の専用部品および付属のネジを使用し、それ以外のもは使用しないでください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。また、ゴム足付きの製品の場合は、ゴム足を取り外した後にネジだけをネジ穴に挿入することは絶対にお止めください。
---	---

## [消耗部品]

 注意	消耗部品が使用されている機器では、定期的に消耗部品を交換してください。消耗部品・交換期間の詳しい内容については、取扱説明書の最後にある仕様でご確認ください。なお、消耗部品は使用環境で寿命が大きく変わりますので、早めの交換をお願いいたします。消耗部品の交換については、販売代理店へお問い合わせください。
---	--

## 開梱および確認

---

このたびは、UFM-30DCC用のオペレーションユニット DCC-NETOU をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本製品を正しくご使用して頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。また、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

### ◆ 構成表

品名	数量	備考
DCC-NETOU	1	オペレーションユニット
電源ケーブル	1セット	抜け止め金具付
ラック取付金具	1セット	EIA 規格
取扱説明書	1	(本書)

### 注意

DCC-NETOU は、コントロールカード (UFM-30CTL) 経由で、UFM-30DCC を操作します。UFM-30CTL、UFM-30DCC は別購入になります。また、UFM-30CTL/UFM-30DCC を実装するための UFM フレーム UF-112/UF-106B が必要となります。

## 確認

---

もし、品物に損傷があった場合は、直ちに運送業者にご連絡ください。品物に不足があった場合や、品物が間違っている場合は、販売代理店までご連絡ください。

## ラック取り付け

---

本製品は EIA 標準規格です。ラックに取り付ける場合は、専用取付金具を使って取り付けてください。

## AC ケーブル抜け止め金具の取付け

---

- 1) AC インレットに AC ケーブルをしっかり差し込みます。
- 2) 抜け止め金具を AC ケーブルの上から下に通します。

# 目次

---

1. 概要および特長 .....	1
1-1. 概要.....	1
1-2. 特長.....	1
1-3. DCC-NETOU 設定用 PC の推奨環境.....	1
1-4. UFM-30DCC/UFM-30CTL のバージョンについて .....	1
2. 各部の名称と機能 .....	2
2-1. 前面パネル.....	2
2-2. 背面パネル.....	3
3. UFM-30DCC / UFM-30CTL との接続.....	4
3-1. 基本接続.....	4
3-2. 複数台の接続.....	5
4. セットアップ .....	6
4-1. DCC-NETOU と設定用 PC との接続.....	6
4-2. DCC-NETOU の IP アドレスの変更 .....	6
4-3. ブラウザの設定画面.....	8
4-3-1. Information ページ.....	8
4-3-2. Network Setting ページ.....	8
4-3-3. User Setting ページ .....	9
4-3-4. Module Name Setting ページ.....	9
4-3-5. Direct Mode Setting ページ .....	10
4-3-6. Backup & Restore ページ.....	11
4-3-7. DCC-NETOU の再起動 .....	12
5. UFM-30DCC の制御 .....	13
5-1. 接続機器の選択.....	13
5-1-1. Unit モードでの接続方法 .....	13
5-1-2. Direct モードでの接続方法 .....	14
5-1-3. 選択モードの切り換え .....	14
5-2. チャンネルと入力映像の選択.....	15
5-2-1. 入力信号の選択 (Single Channel モード).....	15
5-2-2. カラーコレクタ (チャンネル) の選択 (Dual Channel モード).....	15
5-2-3. スプリット表示 .....	16
5-2-4. 操作のポイント .....	16
5-3. プロセスアンプ.....	17
5-4. カラーコレクション .....	17
5-5. クリップ調整.....	18
5-5-1. YPbPr クリップ .....	18
5-5-2. RGB クリップ .....	20
5-5-3. Composite (VBS) クリップ .....	22
5-6. ディスプレイ表示.....	24
5-7. 設定の確認.....	26
5-7-1. カラーコレクションモード時 .....	26
5-7-2. クリップモード時 .....	26
6. イベントメモリの使い方 .....	27
6-1. メモリについて.....	27

6-2. イベントデータの保存.....	27
6-3. イベントデータの読み出し.....	27
7. ネットワークアドレス/バージョン確認 .....	28
8. 設定の初期化.....	29
8-1. 初期化方法 .....	29
9. 仕様および外観図 .....	30
9-1. 仕様 .....	30
9-2. 外観図 .....	30





# 1. 概要および特長

## 1-1. 概要

DCC-NETOU オペレーションユニットは、UFM モジュールコントローラ UFM-30CTL を経由して UFM フレーム内のカラーコレクタ UFM-30DCC を遠隔操作できるオペレーションユニットです。

## 1-2. 特長

- 本体 (UFM-30DCC) を最大 1200 台まで制御可能
- 最大 10 台までの DCC-NETOU から UFM-30DCC への制御が可能
- 99 個の設定パラメータが保存可能

## 1-3. DCC-NETOU 設定用 PC の推奨環境

項目	推奨
プロセッサ	Intel Pentium 4、2.4GHz 以上
メモリ	1GByte 以上
オペレーションシステム	Windows XP SP2 以上(*1)、Windows Vista SP1 以上 Windows 7
ディスク空き容量	1MByte 以上
インターフェース	イーサネット 1 ポート
WEB ブラウザ	Internet Explorer7, Internet Explorer8 Firefox 3.6 以上 (Javascript を有効にしてください。)
ディスプレイ	1024 x 768 (XGA)以上、24 ビットまたは 32 ビット フルカラー

(\*1)Windows XP SP2 から SP3 へアップデートした場合は正常に動作しない場合があります。  
Windows XP SP2 のままご使用いただくか、Windows XP SP3 を新規インストールしてください。

## 1-4. UFM-30DCC/UFM-30CTL のバージョンについて

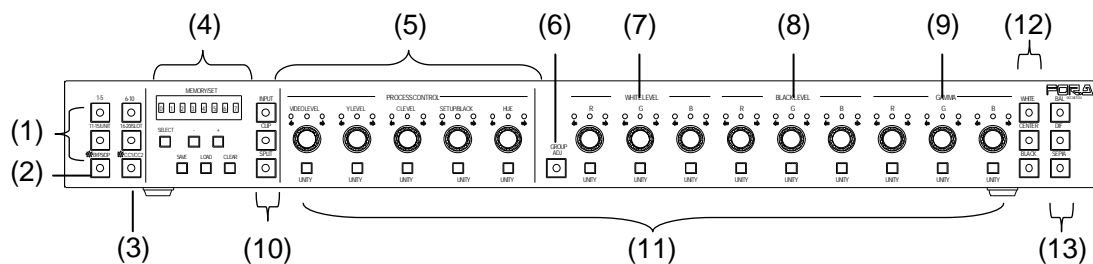
UFM-30DCC の制御に DCC-NETOU を使用するには、UFM-30CTL が必要です。DCC-NETOU は下記のバージョンの UFM-30DCC および UFM-30CTL に対応しています。

UFM-30DCC	Version 2.01 以降 FPGA Version: 2.05 以降 取扱説明書: 3rd Edition 以降
UFM-30CTL	WEB Version: 2.11 以降 SNMP Version: 2.01 以降 取扱説明書: 3rd Edition-Revision 1 以降

バージョン確認方法は、UFM-30DCC および UFM-30CTL の各取扱説明書を参照してください。上記以外のバージョンのユニットは DCC-NETOU と接続できません。接続するには機器のバージョンアップが必要になります。詳しくは販売代理店または、弊社担当営業にご連絡ください。

## 2. 各部の名称と機能

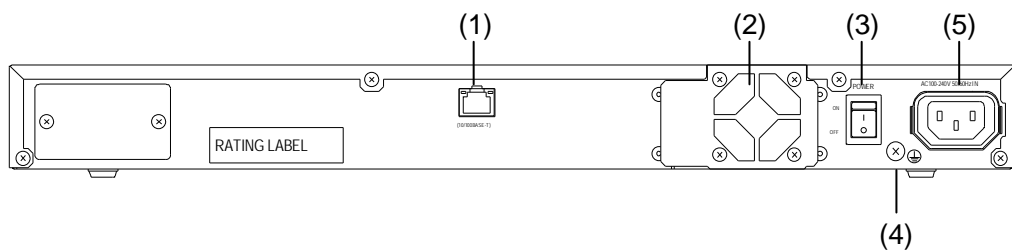
### 2-1. 前面パネル



番号	名前	内容
(1)	ID1-5, ID6-10, ID11-15/UNIT, ID16-20/SLOT	DCC-NETOU から制御する UFM-30DCC を選択するボタンです。
(2)	BYPAS/ OP (OPERATE/ BYPASS)	点灯   OPERATE モードです。カラーコレクタの設定ができます。
		点滅   BYPASS モードです。制御中の UFM-30DCC から出力される信号は入力信号が処理されずに出力されます。
(3)	CC1/CC2	Dual Channel モード時にチャンネルを選択します。 ボタンを押す毎にチャンネル 1 とチャンネル 2 が切り換わります。 点灯時チャンネル 1、点滅時は、チャンネル 2 を選択 (オプションの UFM-3DCC2C が実装され Dual Mode 時に有効です。)
(4)	MEMORY/SET	設定データをメモリに保存し、必要に応じて読み出すことができます。「6. イベントメモリの使い方」参照 設定中は、各種設定値が表示されます。「5-6 ディスプレイ表示」参照
(5)	PROCESS CONTROL	カラーコレクションモード ((10) CLIP ボタン消灯) では、プロセスコントロール用として動作します。「5-3. プロセスコントロール」「5-4. カラーコレクション」参照。) )
		クリップモード ((10) CLIP ボタン点灯) では、中央の 3 つのコントロールが、クリップ調整用として動作します。「5-5. クリップ調整」参照)
(6)	GROUP ADJ	RGB のグループアジャストの設定ボタンです。 点灯中は、WHITE LEVEL、BLACK LEVEL、GAMMA の RGB いずれか 1 つのコントロールで RGB すべての値を同時に操作することができます。
(7)	WHITE LEVEL	ホワイトレベルを調整します。 セピアモード選択時は動作しません。
(8)	BLACK LEVEL	ブラックレベルを調整します。 セピアモード選択時は動作しません。
(9)	GAMMA LEVEL	ガンマレベルを調整します。 セピアモード時は、Y 信号 (G で調整) のみ設定可能となります。
(10)	INPUT	UFM-30DCC の入力信号を選択します。(Single Channel モード時) ボタンを押す毎に UFM-30DCC の INPUT1、2 が切り換わります。
	CLIP	カラーコレクションモードとクリップモードを切り換えます。 長押しで、クリップモードに移行します。 「5-5 クリップ調整」参照
	SPLIT	ボタンを押す毎に映像出力モードを切り換えます。(OFF→ MODE1 →MODE2→MODE3)

番号	名前	内容
(11)	UNITY	UNITY ボタンを押すと、設定値をユニティ状態にします。 ユニティ状態で、もう一度ボタンを押すと前回の設定値に戻ります。
(12)	WHITE/ CENTER/ BLACK	ガンマカーブを WHITE、CENTER、BLACK の3種類から選択します。
(13)	BAL/DIF/SEPIA	カラーコレクタの補正モードを次の3種類から選択します。 BAL (バランス : RGB 信号用) DIF (ディファレンシャル : YPbPr 信号用) SEPIA (セピアカラー)

## 2-2. 背面パネル



番号	名称	説明
(1)	LAN	10/100BASE-TX のイーサネットポートです。UFM-30DCC (UFM-30CTL) との接続に使用します。RJ-45 コネクタ
(2)	冷却ファン	本体内部の発熱による温度上昇を抑えるためのファンです。内部の空気を吹き出しますので、出口を塞がないように設置してください。
(3)	電源スイッチ	DCC-NETOU の電源を ON/OFF するスイッチです。
(4)	アース端子	安全に使用して頂くために、アースを設置して使用してください。
(5)	電源入力	AC 電源を入力してください (AC100V-240V 50/60Hz) 。

### 3. UFM-30DCC / UFM-30CTL との接続

DCC-NETOU と UFM-30DCC を接続するには、DCC-NETOU と UFM-30CTL をイーサネットで接続します。

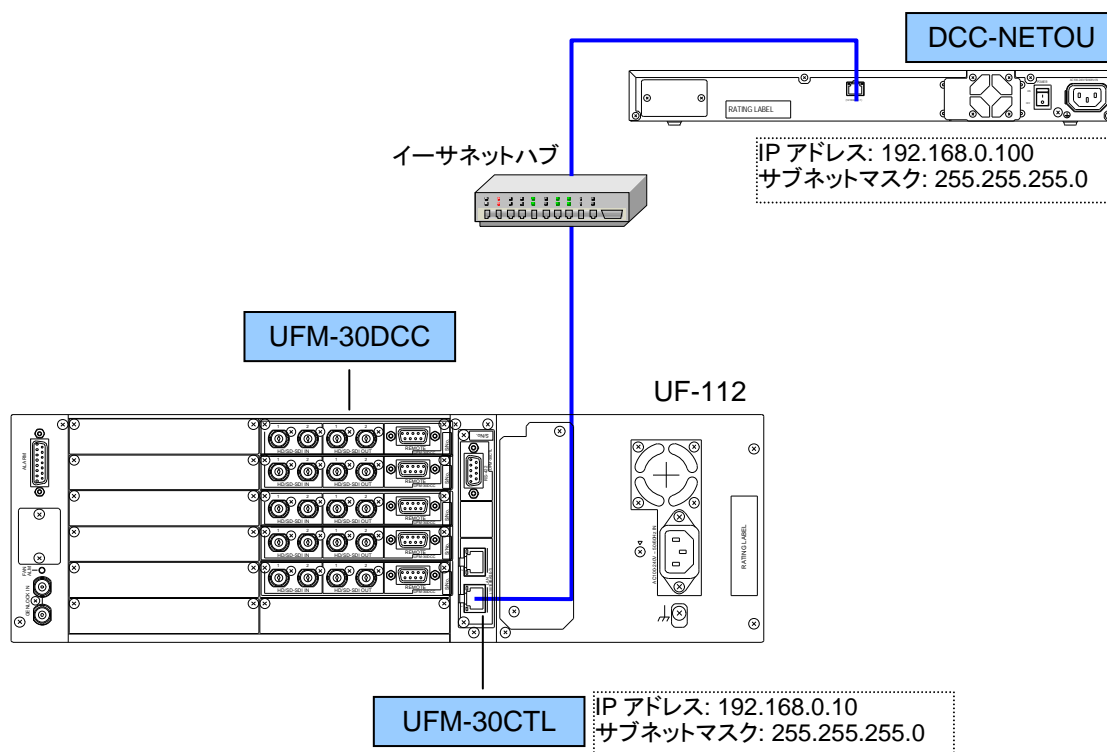
#### 3-1. 基本接続

基本接続例では、UF-112 フレームに 5 台の UFM-30DCC が搭載されています。DCC-NETOU は UFM-30CTL を介して、5 台（最大 12 台まで）の UFM-30DCC を制御することができます。DCC-NETOU と UFM-30CTL 各 1 台を接続する場合は、ネットワーク設定を変更することなく、初期設定のまま接続することができます。

◆ **DCC-NETOU、および UFM-30CTL の IP アドレス設定**

DCC-NETOU、および UFM-30CTL のイーサネットポートは出荷時には以下のように設定されています。

製品	IP アドレス	サブネットマスク
DCC-NETOU	192.168.0.100	255.255.255.0
UFM-30CTL	192.168.0.10	255.255.255.0



**注意** 接続は全ての機器の電源が切れている状態で行ってください。

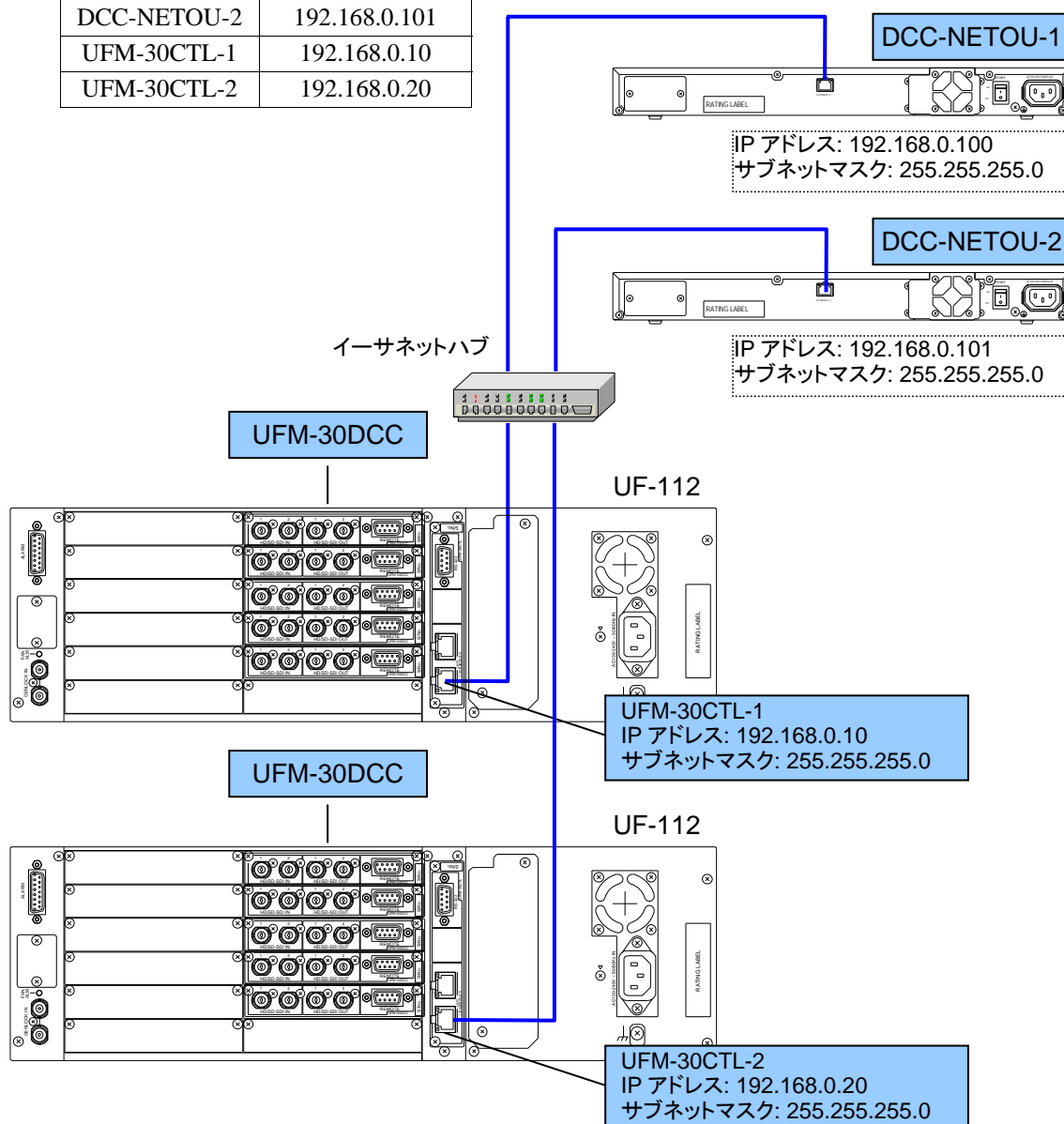
## 3-2. 複数台の接続

複数台の接続例では、2台のUF-112フレームに、それぞれ5台のUFM-30DCCが搭載されています。DCC-NETOU-1、DCC-NETOU-2は、UFM-30CTL-1またはUFM-30CTL-2と接続し、UFM-30DCCを制御することができます。このとき、DCC-NETOU-2、UFM-30CTL-2のIPアドレスの変更が必要です。(DCC-NETOUのネットワーク設定の変更については、「4-2. DCC-NETOUのIPアドレスの変更」を参照してください。)

### ◆ DCC-NETOU および UFM-30CTL の IP アドレス設定

DCC-NETOU、および UFM-30CTL のイーサネットポートを次のように設定します。

製品	IP アドレス
DCC-NETOU-1	192.168.0.100
DCC-NETOU-2	192.168.0.101
UFM-30CTL-1	192.168.0.10
UFM-30CTL-2	192.168.0.20



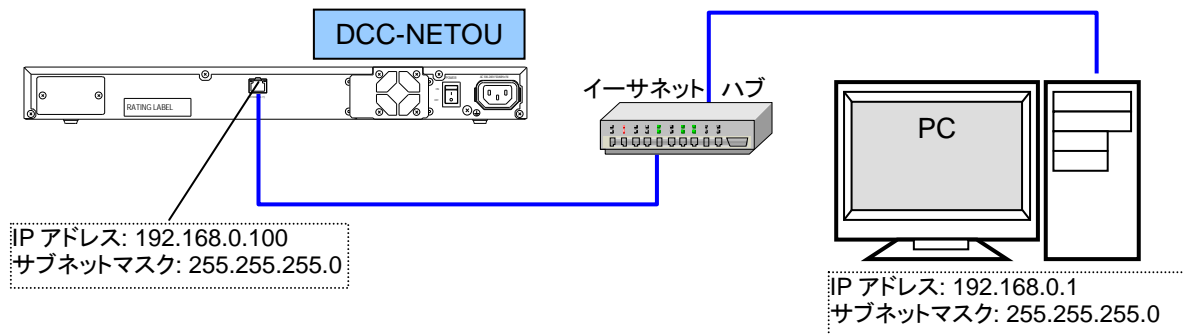
### 注意

接続は全ての機器の電源が切れている状態で行ってください。  
DCC-NETOU と UFM-30CTL を複数台接続する際は、IP アドレスが競合しないように設定してください。

## 4. セットアップ

### 4-1. DCC-NETOU と設定用 PC との接続

- (1) 設定用 PC と DCC-NETOU を下図のように直接接続します。PC の IP アドレスは DCC-NETOU と同じネットワークなるように、例えば 192.168.0.1 などに設定してください。



- (2) PC 上でブラウザを起動します。ここでは Microsoft Internet Explorer での操作方法を記載しますが、他のブラウザでも同様の操作で設定を変更することができます。
- (3) ブラウザが起動したらブラウザのアドレスバーに DCC-NETOU の IP アドレス (初期設定では 192.168.0.100) を入力します。
- (4) 正常に DCC-NETOU と接続すると、[Information] のページが表示されます。

### 4-2. DCC-NETOU の IP アドレスの変更

- (1) 左ペインで [Network Setting] をクリックします。

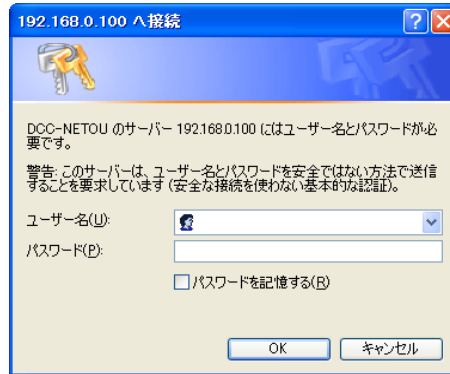
The screenshot shows the web interface for DCC-NETOU. The left sidebar contains the following menu items: Information, **Network Setting** (highlighted with a black arrow), User Setting, Module Name Setting, Direct Mode Setting, Backup & Restore, and Restart. The main content area displays the 'Information' page, which includes:

- Unit Information:** DSP: 0.99, Version: FPGA: 1.02, Front: 0.00D, Serial Number: 13660003, MAC Address: 00:10:B1:04:E0:03, IP Address: 192.168.0.100, Subnet Mask: 255.255.255.0, Default Gateway: 0.0.0.0, Coonect Port: 50000
- Connect Status:** Status: Disconnect, Unit Number: 1, Unit Address: 192.168.0.10, Unit Name: No Name, Slot Number: 1, Module Name: No Name
- Routing Information Table:**

IP Address	Subnet Mask	Flags	Gateway
192.168.0.0	255.255.255.0	U C	IF-1
192.168.0.10	255.255.255.255	H	IF-1
192.168.0.100	255.255.255.255	U H L	
192.168.0.240	255.255.255.255	U H	IF-1

A 'Refresh' button is located at the bottom of the information section.

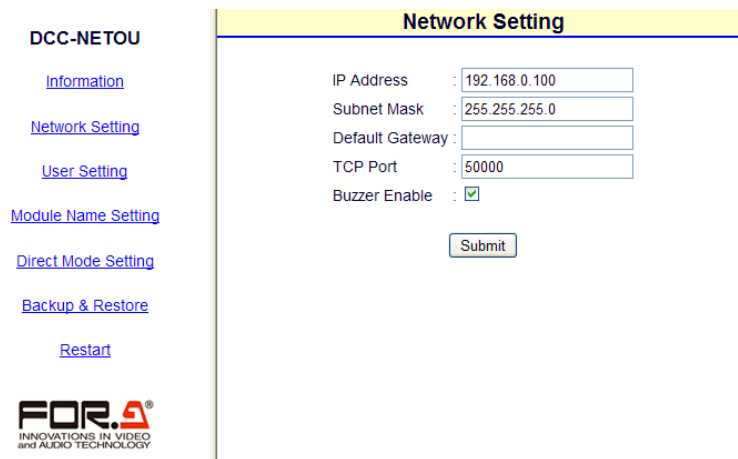
- (2) ログイン画面が表示され、ユーザー名とパスワードの入力が要求されます。



次のように入力してください。(工場出荷時設定)

ユーザー名 : dcc-netou  
パスワード : foranetwork

- (3) ログインすると、右ペインにネットワーク変更画面が表示されます。



- (4) DCC-NETOU の IP アドレスを、[192.168.0.101] など、使用したい番号に変更します。  
(5) [Submit] をクリックします。  
(6) 1 秒以上待ってから、左ペインの [Restart] をクリックします。右ペインの [Restart] ボタンをクリックし、DCC-NETOU を再起動します。再起動後にネットワーク設定の変更が反映されます。

DCC-NETOU の IP アドレスとネットワーク上の他の機器と競合しないようにしてください。

## 4-3. ブラウザの設定画面

### 4-3-1. Information ページ

次の情報が表示されます。

- 機器のネットワークの設定
- 機器のシリアルナンバー
- 機器のバージョン
- 接続中の筐体及びモジュールの情報
- ネットワークのルーティングテーブル

DCC-NETOU

[Information](#)

[Network Setting](#)


[User Setting](#)

[Module Name Setting](#)

[Direct Mode Setting](#)

[Backup & Restore](#)

[Restart](#)



**Information**

<p><b>Unit Information</b></p> <p>DSP:0.99</p> <p>Version: FPGA:1.02</p> <p>Front:0.00D</p> <p>Serial Number: 13660003</p> <p>MAC Address: 00:10:B1:04:E0:03</p> <p>IP Address: 192.168.0.100</p> <p>Subnet Mask: 255.255.255.0</p> <p>Default Gateway: 0.0.0.0</p> <p>Coonect Port: 50000</p>	<p><b>Connect Status</b></p> <p>Status: Disconnect</p> <p>Unit Number: 1</p> <p>Unit Address: 192.168.0.10</p> <p>Unit Name: No Name</p> <p>Slot Number: 1</p> <p>Module Name: No Name</p>
--	--

IP Address	Subnet Mask	Flags	Gateway
192.168.0.0	255.255.255.0	U C	IF-1
192.168.0.10	255.255.255.255	H	IF-1
192.168.0.100	255.255.255.255	U H L	
192.168.0.240	255.255.255.255	U H	IF-1

Flags(フラッグ)の内容

U: 接続有効アドレス

H: ホストアドレス(接続先アドレス)

C: サブネットアドレス

L: ローカルアドレス(自己アドレス)

G: ゲートウェイ

### 4-3-2. Network Setting ページ

DCC-NETOU のネットワーク設定を変更できます。変更後は [Submit] をクリックしてください。

DCC-NETOU

[Information](#)

[Network Setting](#)

[User Setting](#)

[Module Name Setting](#)

[Direct Mode Setting](#)

**Network Setting**

IP Address :

Subnet Mask :

Default Gateway :

TCP Port :

Buzzer Enable :

項目	初期設定	説明
IP Address	192.168.0.100	ネットワーク上に、IP アドレスが競合しないように、IP アドレスを設定してください。
Subnet Mask	255.255.255.0	ネットワーク設定のサブネットとゲートウェイを設定します。TCP Port は、DCC-NETOU と UFM-30CTL 以外の機器がネットワーク上で同じポート番号を使用している場合に変更します。変更する場合は、必ず DCC-NETOU と UFM-30CTL のポート番号は同じにしてください。
Default Gateway	無効	
TCP Port	50000	
Buzzer Enable	有効	操作中のブザー音を消したい場合は、チェックボックスを外します。

#### 注意

Network Setting の変更は、DCC-NETOU が再起動後に変更が適用されます。「4-3-7 DCC-NETOU の再起動」を必ず実施してください。



### 4-3-3. User Setting ページ

ブラウザの設定画面へログインするとき、ユーザー名とパスワードが変更できます。

**注意** User Setting の変更は、DCC-NETOU が再起動後に変更が適用されます。  
「4-3-7 DCC-NETOU の再起動」を必ず実施してください。

DCC-NETOU

- [Information](#)
- [Network Setting](#)
- [User Setting](#)
- [Module Name Setting](#)

**User Setting**

User Name : dcc-netou  
Password : .....  
Re-enter :  
Submit

### 4-3-4. Module Name Setting ページ

DCC-NETOU から接続する Unit 1 (UF-112/UFM-30CTL) の IP アドレスを登録します。Direct モード (「4-3-5. Direct Mode Setting ページ」参照) を使用する場合は、接続中のユニット (UFM-30CTL 搭載の UFM フレーム) をここで登録してください。

また、ユニットとそのスロットに名前をつけることができます。複数の UFM-30DCC を操作するときには、名前をつけておくと識別しやすくなります。

DCC-NETOU

- [Information](#)
- [Network Setting](#)
- [User Setting](#)
- [Module Name Setting](#)
- [Direct Mode Setting](#)
- [Backup & Restore](#)
- [Restart](#)

**Module Name Setting**

Unit No. 1 - 20 21 - 40 41 - 60 61 - 80 81 - 100

**Unit 1 Setting**

IP Address : 192.168.0.10  
Name :

Slot	Name	Slot	Name
Slot 1:		Slot 7:	
Slot 2:		Slot 8:	
Slot 3:		Slot 9:	
Slot 4:		Slot 10:	
Slot 5:		Slot 11:	
Slot 6:		Slot 12:	

Submit

**FOR 5**  
INNOVATIONS IN VIDEO  
and AUDIO TECHNOLOGY

- (1) Unit No.番号のグループ上にマウスを合わせます。番号の一覧が表示されます。設定したいユニット番号 (UF-112/UFM-30CTL) をクリックします。
- (2) 選択したユニット番号の画面に切り替えます。ユニット (UF-112/UFM-30CTL) の IP アドレスを入力します。
- (3) ユニットの名前を入力します。
- (4) 次に UFM-30DCC が実装されているスロット番号 (Slot1~12) に名前を入力します。
- (5) 設定が完了しましたら [Submit] をクリックします。

## 4-3-5. Direct Mode Setting ページ

ID に特定のユニットの特定のスロットを割り当て、Direct モードで UFM-30DDC モジュールを呼び出せるようにします。UFM-30DDC を 20 台まで登録することができます。すばやく、操作する UFM-30DCC モジュールの選択が可能になります。（「5-1-2. Direct モードでの接続方法」参照）。

ID 1 - 5			ID 6 - 10		
ID	Unit No.	Slot No.	ID	Unit No.	Slot No.
1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	6	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	7	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	8	<input type="text"/>	<input type="text"/>
4	<input type="text"/>	<input type="text"/>	9	<input type="text"/>	<input type="text"/>
5	<input type="text"/>	<input type="text"/>	10	<input type="text"/>	<input type="text"/>

ID 11 - 15			ID 16 - 20		
ID	Unit No.	Slot No.	ID	Unit No.	Slot No.
11	<input type="text"/>	<input type="text"/>	16	<input type="text"/>	<input type="text"/>
12	<input type="text"/>	<input type="text"/>	17	<input type="text"/>	<input type="text"/>
13	<input type="text"/>	<input type="text"/>	18	<input type="text"/>	<input type="text"/>
14	<input type="text"/>	<input type="text"/>	19	<input type="text"/>	<input type="text"/>
15	<input type="text"/>	<input type="text"/>	20	<input type="text"/>	<input type="text"/>

- (1) **1-5** ボタンの ID1 に登録するユニット番号とスロット番号を入力します。登録する番号は、Module Name Setting ページで登録したユニット番号とスロット番号を設定します。同様に、ID5 まで入力します。Direct Mode で **1-5** ボタンを押した場合空白の ID 番号は呼び出しされません。
- (2) 同様に、**6-10**、**11-15**、**16-20** のボタンに割付する、ユニット番号とスロット番号を入力します。
- (3) 全ての設定が終了しましたら **[Submit]** をクリックします。

### 注意

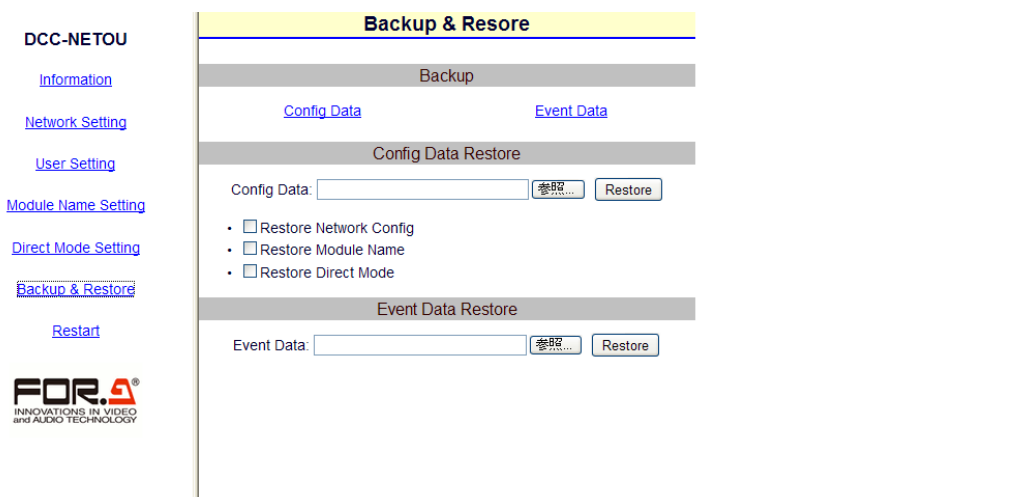
Direct Mode で機器を選択する際は、Module Name Setting ページで、ユニット番号と IP アドレスを設定しておいてください。設定されていない場合は呼び出すことができません。

Direct Mode で、**1-5**、**6-10**、**11-15**、**16-20** ボタンを操作して UFM-30DCC を指定した場合、Module Name Setting ページで登録した名前が表示されます。

## 4-3-6. Backup & Restore ページ

ブラウザの設定画面の左ペインの [Backup & Restore] をクリックします。Backup & Restore ページでは、以下の操作ができます。

- DCC-NETOU のネットワーク設定の保存と復元
- 接続先 (UFM-30DCC) 設定の保存と復元
- Direct Mode で、指定した接続先の保存と復元
- イベントメモリの保存と復元
- 別の DCC-NETOU へ設定をコピーすることができます。



### ◆ 設定保存

[Config Data] をクリックすると、ネットワーク設定、接続先設定をパソコン上のファイルに保存することができます。

- (1) Backup エリアの [Config Data] をクリックします。[ダウンロード] ダイアログが表示されます。
- (2) [保存] ボタンをクリックします。
- (3) 保存先を選択するダイアログが表示されます。保存先を選択して [保存] ボタンをクリックします。ネットワークの設定及び接続先の設定が、自動的に次のファイル名で保存されます。

DCC-NETOU\_XXX\_XXX\_XXX\_XXX.ini (XXX はユニットの IP アドレス)

必要に応じてファイル名を変更してください。

### ◆ 設定の復元

「設定保存」操作でパソコン上保存したファイルからネットワーク設定、接続先設定を復元することができます。

- (1) [Config Data Restore] エリアで復元項目にチェックを入れます。
- (2) ネットワーク設定を復元する場合、[Restore Network Config]にチェックを入れます。
- (3) 接続先モジュールの設定を復元する場合、[Restore Module Name]にチェックを入れます。
- (4) Direct モードの設定を復元する場合、[Restore Direct Mode]にチェックを入れます。
- (5) [参照] をクリックし、「設定保存」操作で保存したファイルを選択します。
- (6) [Restore] ボタンをクリックし、ファイルに保存されている設定を読み込みます。
- (7) 1 秒ほど待ち DCC-NETOU を再起動します。接続先の設定が復元されます。

**注意** [Restore Network Config] にチェックを入れてネットワークの変更を実施した場合、設定変更は、DCC-NETOU 再起動後に適用されます。必ず再起動を実施してください。(「4-3-7 DCC-NETOU の再起動」参照)

◆ イベントメモリの保存

1～99 イベントメモリを一括してパソコン上のファイルに保存することができます。

- (1) [Backup] エリアで [Event Data] をクリックします。[ダウンロード] ダイアログが表示されます。
- (2) [保存] ボタンをクリックします。保存先を選択するダイアログが表示されます。
- (3) 保存先を選択して [保存] ボタンをクリックします。現在保存されているイベントメモリのデータが、自動的に次のファイル名で保存されます。

DCC-NETOU\_EventData.ini

また、必要に応じてファイル名を変更してください。

◆ イベントメモリの復元

「イベントメモリの保存」操作で保存したファイルから、イベントメモリ 1～99 を復元することができます。

- (1) [Event Data Restore] エリアの [参照] ボタンをクリックします。イベントメモリデータが保存されているファイルを選択します。
- (2) [Restore] ボタンをクリックし、ファイルに保存されているイベントメモリデータを読み込みます。
- (3) 1 秒ほど待ち DCC-NETOU を再起動します。読み込んだイベントメモリデータが適用されます。

**注意** 復元操作を実施する場合、DCC-NETOU の設定は、ファイルに保存されている内容に全て置き換わります。操作する場合は十分注意して実施してください。

## 4-3-7. DCC-NETOU の再起動

- (1) ブラウザ設定画面、左ペインの [Restart] をクリックします。
- (2) 右ペインの [Restart] ボタンをクリックします。
- (3) メッセージが表示され、DCC-NETOU が再起動します。
- (4) 再起動が完了すると [Information] のページに戻ります。

下記の設定変更を実施した場合、必ず「DCC-NETOU の再起動」を実施してください。

- 「4-3-2 Network Setting ページ」でネットワーク設定を変更した場合
- 「4-3-3 User Setting ページ」で User Name, Password を変更した場合
- 「4-3-6 Backup & Restore ページ」の設定の復元で [Restore Network Config] にチェックを入れネットワークの変更を実施した場合

## 5. UFM-30DCC の制御

### 5-1. 接続機器の選択

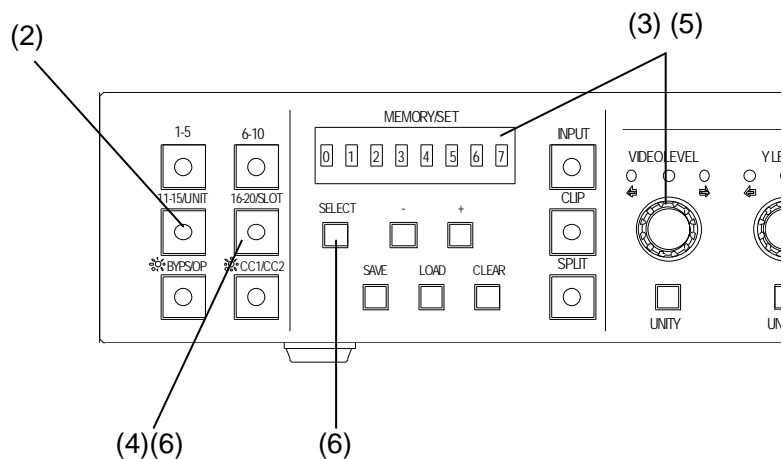
接続先（UFM-30DCC）の選択方法は、以下の二通りの方法があります。

- Unit モード: ユニット番号・スロット番号を指定して接続する方法
- Direct モード: ID 番号に登録されたユニット番号とスロット番号を ID 番号指定で接続する方法

**注意** 電源投入時の接続には最大約 1 分半の時間が必要になる場合があります。

#### 5-1-1. Unit モードでの接続方法

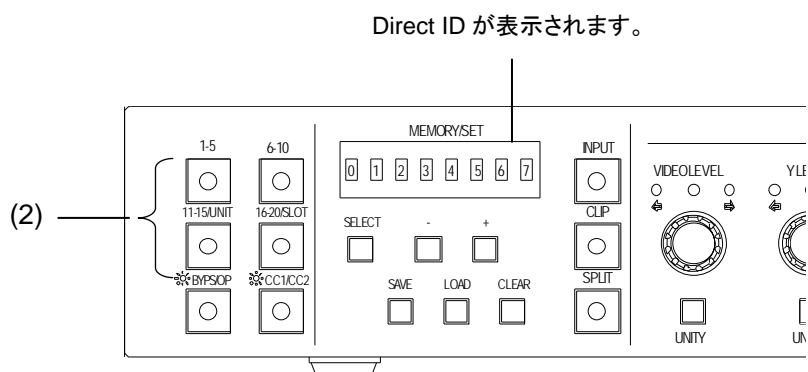
- (1) 接続機器の選択を Unit モードに設定します。モードの切換方法は「5-1-3. 選択モードの切り換え」を参照してください。
- (2) **11-15/UNIT** ボタンを押します。
- (3) **VIDEO LEVEL** を回し、接続するユニット番号を選択します。
- (4) 次に **16-20/SLOT** ボタンを押します。
- (5) **VIDEO LEVEL** を回し、制御するスロット番号を選択します。  
「4-3-4 Module Name Setting」で名前が登録されている場合は、名前が表示されます。
- (6) **16-20/SLOT** または **SELECT** を押します。選択したスロットの UFM-30DCC の制御を開始します。



指定した接続先に UFM-30DCC が存在しない場合は、VIDEO LEVEL の中央 LED が点滅し、指定した接続先の番号が消灯します。再度(1)～(6)の操作を実施し、UFM-30DCC が実装されているスロットを指定してください。

## 5-1-2. Direct モードでの接続方法

- (1) 接続先の選択を Direct モードに設定します。モードの切換方法は「5-1-3. 選択モードの切り換え」を参照してください。
- (2) 接続したい UFM-30DCC の Direct モード ID を含むボタンを、必要な回数だけ押します。ID1 に登録されている UFM-30DCC と接続したい場合は、**1-5** ボタンを 1 回押します。ID7 に登録されている UFM-30DCC と接続したい場合は、**6-10** ボタンを 2 回押します。



選択したい機器の ID が選択されるまで、ボタンを押します。ボタンを押す毎に ID 番号が次のように進みます。

<b>1-5</b> ボタン :	1→2→…→5→1
<b>6-10</b> ボタン :	6→7→…→10→6
<b>11-15</b> ボタン :	11→12→…→15→11
<b>16-20</b> ボタン :	16→17→…→20→16

ID 登録されている、UFM-30DCC に接続され、登録のない ID 番号はスキップされます。ID の登録方法については、「4-3-5. Direct Mode Setting ページ」を参照してください。

## 5-1-3. 選択モードの切り換え

- (1) **1-5** ボタンを長押し(約 3 秒)します。
- (2) 選択モードが切替ります。(Unit モードのときは Direct モードに、Direct モードのときは Unit モードに切り換わります。)

## 5-2. チャンネルと入力映像の選択

オプションの UFM-3DCC2C が、実装されている場合、UFM-30DCC には **Single Channel / Dual Channel / Link** の 3 種類のオペレーションモード選択が可能になります。

UFM-3DCC2C が実装されていない場合は、**Single Channel** の固定モード動作します。

**Single Channel** モード： カラーコレクタ 1 チャンネル 2 出力

**Dual Channel** モード： カラーコレクタ 2 チャンネル各 1 出力 (個別設定) (オプション)

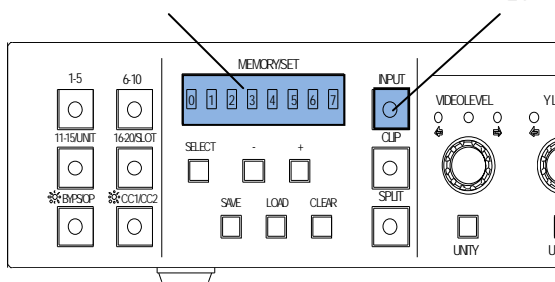
**Link** モード： カラーコレクタ 2 チャンネル各 1 出力 (共通設定) (オプション)

オペレーションモードの切り換えは DCC-NETOU ではできません。  
**注意** UFM-30DCC の前面パネルまたは、WEB 画面にて設定してください。  
詳しくは、UFM-30DCC、UFM-30CTL の各取扱説明書を参照してください。

### 5-2-1. 入力信号の選択 (Single Channel モード)

**INPUT** ボタンを押します。現在選択されている入力映像が表示されます。ボタンを押す度に INPUT1、INPUT2 が切り換わります。Single Channel モード以外の場合は操作できません。

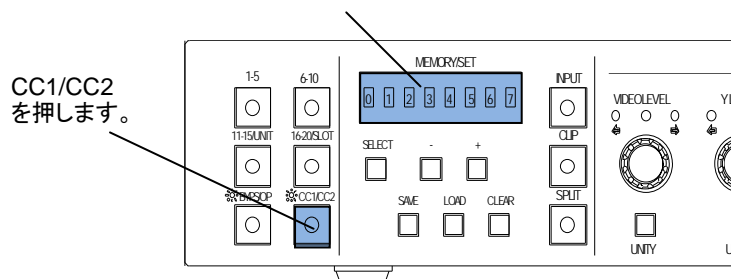
INPUT1 または INPUT2 が表示されます。 INPUT を押します。



### 5-2-2. カラーコレクタ (チャンネル) の選択 (Dual Channel モード)

**CC1/CC2** ボタンを押します。現在選択されているチャンネルが表示されます。ボタンを押す度に CHANNEL1、CHANNEL2 が切り換わります。

CHANNEL1 または CHANNEL2 が表示されます。

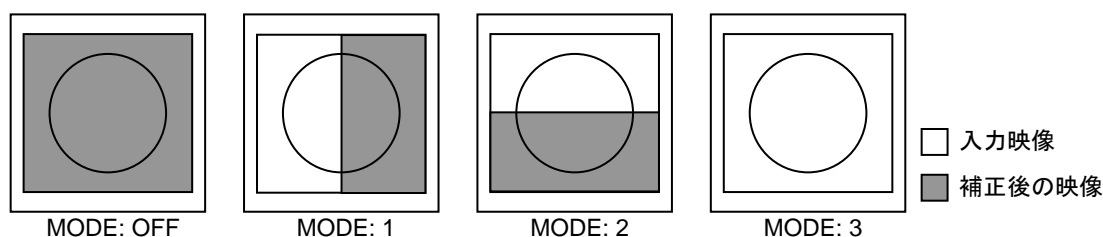
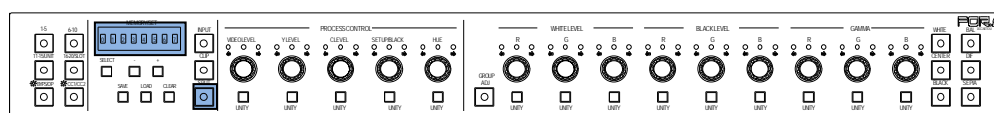


**注意** **CC1/CC2** ボタンは **Dual Channel** モードのときにだけ動作します。このとき DCC-NETOU が接続している UFM-30DCC に UFM-3DCC2C (デュアルチャンネルオプション) がインストールされている必要があります。詳しくは、UFM-30DCC 取扱説明書を参照してください。

### 5-2-3. スプリット表示

SPLIT ボタンを押すと映像出力モードが次のように切り換わります。(OFF→ MODE1→MODE2→ MODE3)

- OFF: 補正後の映像を全画面で出力します。
- MODE1: 入力映像と補正後の映像を左右に表示します。
- MODE2: 入力映像と補正後の映像を上下に表示します。
- MODE3: 入力映像を全画面で出力します。



### 5-2-4. 操作のポイント

- 各々のコントロール上部には設定状態を示す3つのLEDランプがあります。中央のLEDランプ点灯時は設定値がユニティであることを示します。左側のLEDランプ点灯時は設定値がユニティよりマイナスの値であることを示します。右側のLEDランプ点灯時は、設定値がユニティよりプラスの値であることを示します。
- 各々のコントロール下部の **UNITY** ボタンを押すとユニティ設定になります。再び **UNITY** ボタンを押すと元の設定に戻ります。
- 設定値が最大値、また最小値を越えた場合はエラーアラームが鳴ります。



### 5-3. プロセスアンプ

プロセスコントロール部では以下のコントロールを使いプロセスアンプの調整を行います。

VIDEO LEVEL	ビデオレベルの調整
Y LEVEL	ルミネンスレベルの調整
C LEVEL	クロマレベルの調整 (セピアモード時は、セピアレベルの調整)
SETUP/BLACK	セットアップレベルの調整
HUE	色位相の調整 (セピアモード時は、セピアカラーの調整)

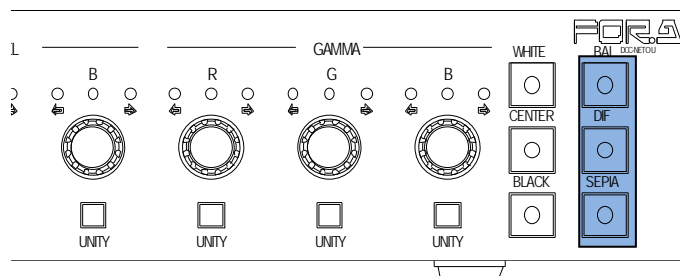
#### 注意

バイパス時、接続機器選択中、クリップ設定中は、プロセスアンプは使用できません。

### 5-4. カラーコレクション

**BAL**、**DIF**、**SEPIA** ボタンを押して、カラーコレクションモードを選択します。選択されたボタンが点灯します。

BAL (Balance):            RGB モード  
 DIF (Differential):      色差 (YPbPr) モード  
 SEPIA:                    単色モード



以下のカラーコレクション調整ができます。

WHITE LEVEL	RGB でホワイトレベルの調整を行います。 (セピアモード時は動作しません。)
BLACK LEVEL	RGB でブラックレベルの調整を行います。 (セピアモード時は動作しません。)
GAMMA	RGB でガンマレベルの調整を行います。 (セピアモード時は、Gの設定でY信号のみ設定可能となります。 R、Bの設定は動作しません。)

**GROUP ADJ** ボタンの ON/OFF で RGB 同時/個別設定ができます。**GROUP ADJ** ボタンが OFF (ボタン消灯) の場合は、RGB のコントロールを個別に設定できます。ON (ボタン点灯) の場合は、RGB いずれかのコントロールを動かすと他のコントロールも連動して動きます。

#### 注意

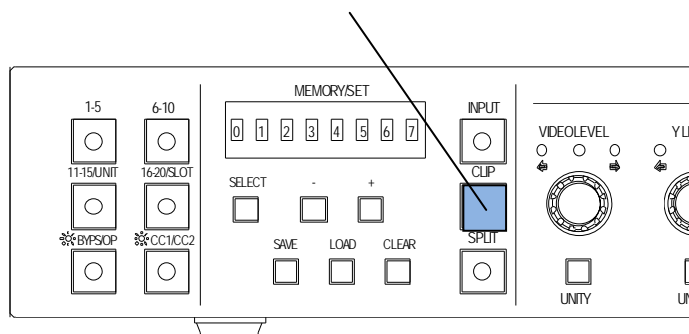
バイパス時、接続機器選択中、クリップ設定中は、カラーコレクション調整はできません。

## 5-5. クリップ調整

クリップ調整を行う場合は、まず前面パネルのボタンをカラーコレクションモードからクリップモードに変更してから行います。

- (1) **CLIP** ボタンを 5 秒以上押し続けます。
- (2) ブザーが鳴り、**CLIP** ボタンが点滅しクリップモードになったことを示します。

CLIP を長押しします。



- (3) クリップ設定が終了したら、**CLIP** ボタンを押し、カラーコレクションモードに戻ります。

### 5-5-1. YPbPr クリップ

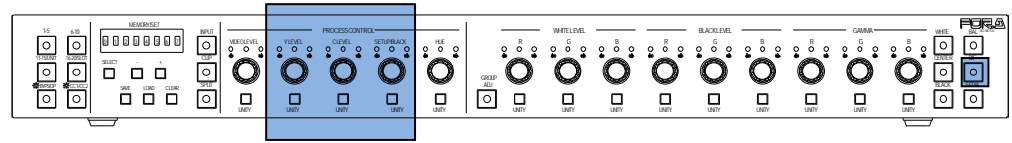
- (1) 前面パネル右端の **DIF** ボタンを押します。(もう一度 **DIF** を押すと、クリップが OFF になります。)
- (2) プロセスコントロール部にある以下のコントロールで調整を行います。

Y LEVEL	Y 信号のホワイトクリップ
C LEVEL	C 信号のクリップ
SETUP/BLACK	Y 信号のブラッククリップ

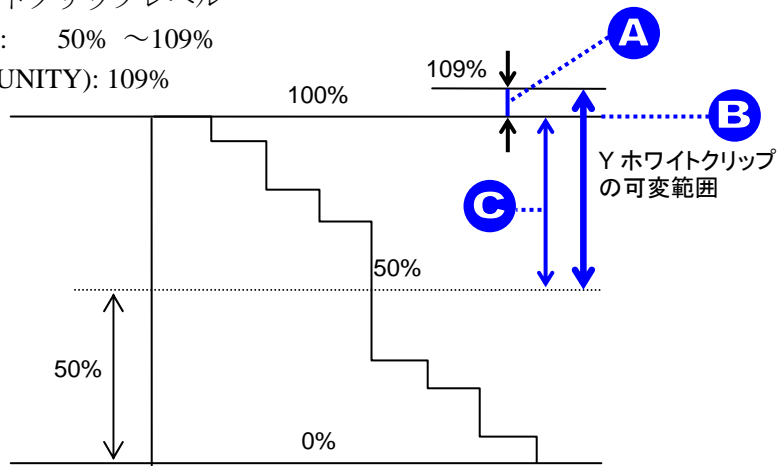
- (3) コントロール上部の 3 つの LED ランプと MEMORY/SET 表示の数値を見ながら、クリップを調整します。(詳しくは、次ページ以降の「レベル表示と信号レベル」を参照してください。) 表示の下にある **UNITY** ボタンを押すと、クリップの値は初期値に戻ります。
- (4) (2)、(3)を繰り返し、必要な調整を行います。

◆ レベル表示と信号レベル

前面パネルのレベル表示、コントロール操作、信号レベルの関係は以下のようになっています。



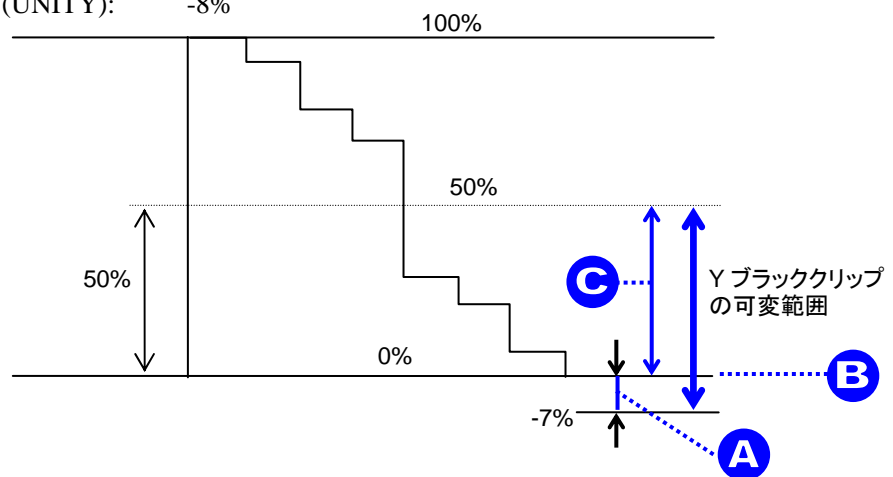
- ① Y ホワイトクリップレベル  
 可変範囲: 50% ~ 109%  
 初期値 (UNITY): 109%



SMPTE 100% カラーバー 100% ホワイト基準

ボタン	設定	レベル表示 LED ランプ	パネル表示
Y LEVEL	A	オレンジ点灯、109% (UNITY) で点滅	101% ~ 109%
	B	緑点灯	100%
	C	オレンジ点灯、50%で点滅	50% ~ 99%

- ② Y ブラッククリップレベル  
 可変範囲: -8% ~ 50%  
 初期値 (UNITY): -8%



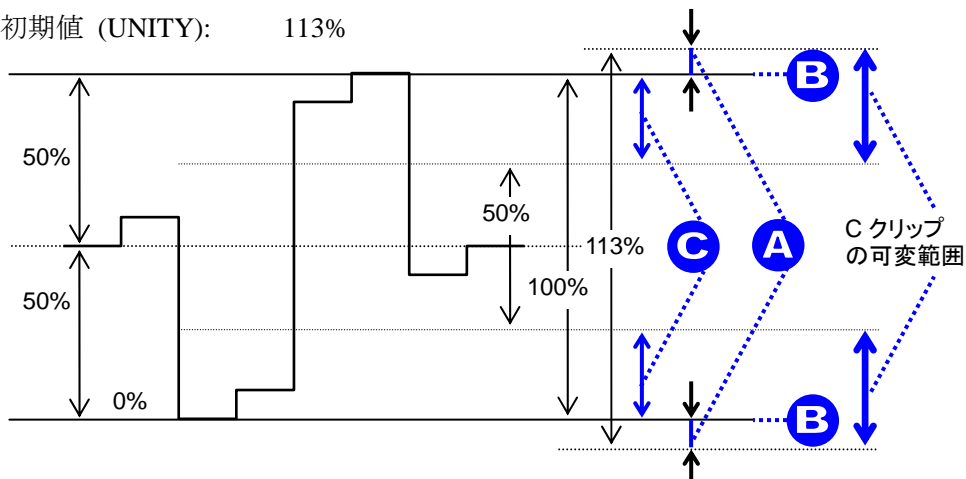
SMPTE 100% カラーバー 100% ブラック基準

ボタン	設定	レベル表示 LED ランプ	パネル表示
SETUP/ BLACK	A	オレンジ点灯、-7% (UNITY) で点滅	-7% ~ -1%
	B	緑点灯	0%
	C	オレンジ点灯、50%で点滅	1% ~ 50%

③ C クリップレベル

可変範囲: 50% ~ 113%

初期値 (UNITY): 113%



SMPTE 100% カラーバー 700mVp-p(100%) カラー基準

ボタン	設定	レベル表示 LED ランプ	パネル表示
C LEVEL	A	オレンジ点灯、113% (UNITY) で点滅	101% ~ 113%
	B	緑点灯	100%
	C	オレンジ点灯、50%で点滅	50% ~ 99%

## 5-5-2. RGB クリップ

(1) 前面パネル右端の **BAL** ボタンを押します。(もう一度 **BAL** を押すと、RGB クリップが OFF になります。)

(2) プロセスコントロール部にある以下のコントロールで調整を行います。

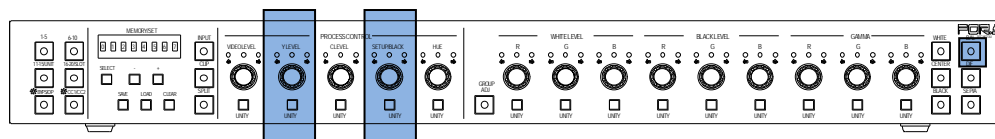
Y LEVEL	RGB 信号のホワイトクリップ
SETUP/BLACK	RGB 信号のブラッククリップ

(3) コントロール上部の3つの LED ランプと MEMORY/SET 表示の数値を見ながら、クリップを調整します。(詳しくは、下記の「レベル表示と信号レベル」を参照してください。) 表示の下にある **UNITY** ボタンを押すと、クリップの値は初期値に戻ります。

(4) (2)、(3)を繰り返し、必要な調整を行います。

◆ レベル表示と信号レベル

前面パネルのレベル表示、コントロール操作、信号レベルの関係は以下のようになっています。



① RGB WHITE LEVEL (YLEVEL) 調整時の表示

可変範囲: 50% ~ 300%

初期値 (UNITY): 300%

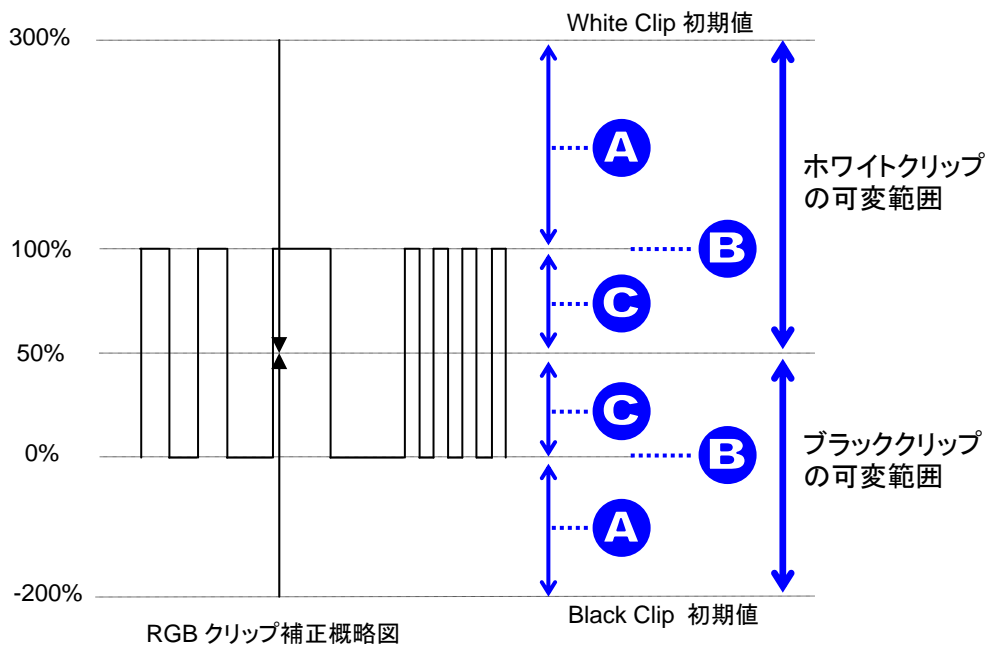
ボタン	設定	レベル表示 LED ランプ	パネル表示
Y LEVEL	A	オレンジ点灯、300%で点滅	101% ~ 300%
	B	緑点灯	100%
	C	オレンジ点灯、50% (UNITY)で点滅	50% ~ 99%

② RGB BLACK LEVEL (SETUP/BLACK) 調整時の表示

可変範囲: -200% ~ 50%

初期値 (UNITY): -200%

ボタン	設定	レベル表示 LED ランプ	パネル表示
SETUP/ BLACK	A	オレンジ点灯、-200% (UNITY)で点滅	-200% ~ -1%
	B	緑点灯	0%
	C	オレンジ点灯、50%で点滅	1% ~ 50%



### 5-5-3. Composite (VBS) クリップ

(1) 前面パネル右端の **SEPIA** ボタンを押します。(もう一度 **SEPIA** を押すと、Composite クリップが OFF になります。)

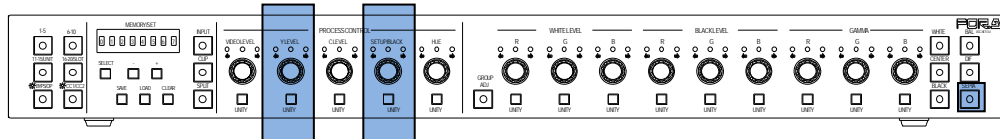
(2) プロセスコントロール部にある以下のコントロールで調整を行います。

Y LEVEL	Composite (VBS) 信号のホワイトクリップ
SETUP/BLACK	Composite (VBS) 信号のブラッククリップ

(3) コントロール上部の3つのLEDランプとMEMORY/SET表示の数値を見ながら、クリップを調整します。(詳しくは、下記の「レベル表示と信号レベル」を参照してください。)表示の下にある **UNITY** ボタンを押すと、クリップの値は初期値に戻ります。

#### ◆ レベル表示と信号レベル

前面パネルのレベル表示、コントロール操作、信号レベルの関係は以下のようになっています。



#### ① Composite (VBS) WHITE LEVEL (Y LEVEL) 調整時の表示

可変範囲: 50% ~ 150%

初期値 (UNITY): 150%

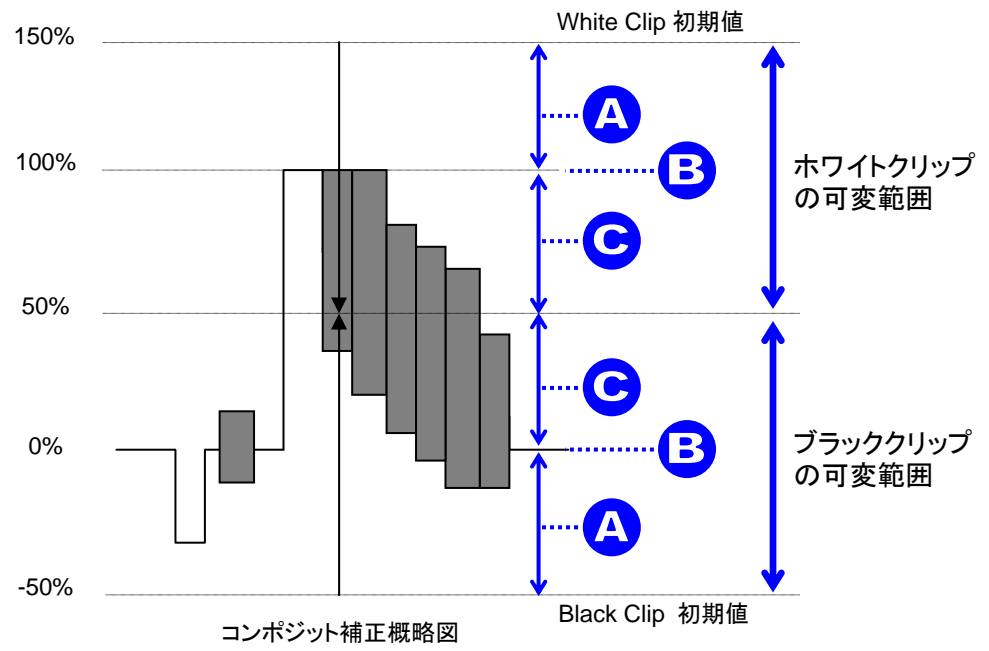
ボタン	設定	レベル表示 LED ランプ	パネル表示
Y LEVEL	A	オレンジ点灯、150%で点滅	101% ~ 150%
	B	緑点灯	100%
	C	オレンジ点灯、50% (UNITY)で点滅	50% ~ 99%

#### ② Composite (VBS) BLACK LEVEL (SETUP/BLACK) 調整時の表示

可変範囲: -50% ~ 50%

初期値 (UNITY): -50%

ボタン	設定	レベル表示 LED ランプ	パネル表示
SETUP/BLACK	A	オレンジ点灯、-50% (UNITY)で点滅	-50% ~ -1%
	B	緑点灯	0%
	C	オレンジ点灯、50%で点滅	1% ~ 50%



## 5-6. ディスプレイ表示

各設定項目を設定中に、8桁ディスプレイに設定内容が表示されます。

操作する UFM-30DCC の選択

操作項目	操作ボタン	条件	設定 (表示)
ユニット 選択モード	<b>1-5</b>		UNIT MODE, DIRECT MODE
UNIT モード UNIT 選択	<b>11-15/UNIT</b> →	UNIT 名称登録あり	UNIT 名称
	<b>VIDEO LEVEL</b> → <b>SELECT</b>	UNIT 名称登録なし	UNIT 1~UNIT100
UNIT モード SLOT 選択	<b>16-20/SLOT</b> →	SLOT 名称登録あり	SLOT 名称
	<b>VIDEO LEVEL</b> → <b>SELECT</b>	SLOT 名称登録なし	SLOT 1~SLOT12
DIRECT 選択モード	<b>1-5</b> 、 <b>6-10</b> 、 <b>11-15</b> 、 <b>16-20</b>	DIRECT ID 名あり (UNIT 名または SLOT 名あり)	ID 名称 (UNIT 名称または SLOT 名称)
		DIRECT ID 名なし	U1S1-U100S12

入力映像／チャンネル／映像表示モード

操作項目	操作ボタン	条件	設定 (表示)
入力映像選択	<b>INPUT</b>	Single Channel モード	INPUT 1, INPUT 2
チャンネル選択	<b>CC1/CC2</b>	Dual Channel モード	CHANNEL1, CHANNEL2
映像表示 モード選択	<b>SPLIT</b>		OFF, MODE 1, MODE 2, MODE 3

イベントメモリ操作

操作項目	操作ボタン	設定 (表示)
保存	<b>SAVE</b>	SAVE 01-SAVE 99
読み込み	<b>LOAD</b>	LOAD 00-LOAD 99

プロセスアンプ操作

操作項目	操作ボタン	条件	設定 (表示)
VIDEO LEVEL	<b>VIDEO LEVEL</b>	DIF モード BAL モード	VL 0%~VL 200% (UNITY 100%)
Y LEVEL	<b>Y LEVEL</b>	DIF モード BAL モード	YL 0%~YL 200% (UNITY 100%)
C LEVEL	<b>C LEVEL</b>	DIF モード BAL モード	CL 0%~200% (UNITY 100%)
SETUP/BLACK	<b>SETUP/BLACK</b>	DIF モード BAL モード	SB -7%~25% (UNITY 0%)
HUE	<b>HUE</b>	DIF モード BAL モード	HUE -179.9° ~180° (UNITY 0°)
SEPIA LEVEL	<b>C LEVEL</b>	SEPIA モード	SL 0%~100% (UNITY 25%)
SEPIA COLOR	<b>HUE</b>	SEPIA モード	SC -179.9° ~180° (UNITY -160°)



カラーコレクション操作

操作項目	操作ボタン	条件	設定 (表示)
コレクションモード	<b>BAL</b>	BAL モード	BALANCE
	<b>DIF</b>	DIF モード	DIFFERENTIAL (スクロール表示)
	<b>SEPIA</b>	SEPIA モード	SEPIA
WHITE LEVEL	<b>R</b>	DIF モード BAL モード	WR 0% ~ WR 200% (UNITY 100%)
	<b>G</b>	DIF モード BAL モード	WG 0% ~ WG 200% (UNITY 100%)
	<b>B</b>	DIF モード BAL モード	WB 0% ~ WB 200% (UNITY 100%)
BLACK LEVEL	<b>R</b>	DIF モード BAL モード	BR 0% ~ BR 200% (UNITY 100%)
	<b>G</b>	DIF モード BAL モード	BG 0% ~ BG 200% (UNITY 100%)
	<b>B</b>	DIF モード BAL モード	BB 0% ~ BB 200% (UNITY 100%)
GAMMA LEVEL	<b>R</b>	DIF モード BAL モード	GR 0% ~ GR 200% (UNITY 100%)
	<b>G</b>	DIF モード BAL モード	GG 0% ~ GG 200% (UNITY 100%)
	<b>B</b>	DIF モード BAL モード	GB 0% ~ GB 200% (UNITY 100%)
GAMMA CURVE	<b>WHITE</b>	DIF モード BAL モード	GAMMA W
	<b>CENTER</b>	DIF モード BAL モード	GAMMA C
	<b>BLACK</b>	DIF モード BAL モード	GAMMA B

クリップ操作

操作項目	操作ボタン	条件	設定 (表示)
クリップ ON/OFF	<b>BAL</b>	RGB クリップモード	RGB ON/ CLIP OFF
	<b>DIF</b>	YPbPr クリップモード	YBR ON/ CLIP OFF
	<b>SEPIA</b>	Composite クリップモード	VBS ON/ CLIP OFF
WHITE CLIP	<b>Y LEVEL</b>	RGB クリップモード	RW 50% ~ RW 300% (UNITY 300%)
BLACK CLIP	<b>SETUP/BLACK</b>	RGB クリップモード	RB -200% ~ RB 50% (UNITY -200%)
Y WHITE CLIP	<b>Y LEVEL</b>	YPbPr クリップモード	YW 50% ~ YW 109% (UNITY 109%)
Y BLACK CLIP	<b>SETUP/BLACK</b>	YPbPr クリップモード	YB -7% ~ YB 50% (UNITY -7%)
CHROMA CLIP	<b>C LEVEL</b>	YPbPr クリップモード	CW 50% ~ CW 113% (UNITY 113%)
WHITE CLIP	<b>Y LEVEL</b>	Composite クリップモード	VW 50% ~ VW 150% (UNITY 150%)
BLACK CLIP	<b>SETUP/BLACK</b>	Composite クリップモード	VB -50% ~ VB 50% (UNITY -50%)

## 5-7. 設定の確認

---

UFM-30DCC 接続時に **SELECT** ボタンを押すと、順次設定状態の確認が行えます。

### 5-7-1. カラーコレクションモード時

---

コレクションモードが **BALANCE** または、**DIFFERENTIAL** モード時に **SELECT** ボタンを押すと設定内容が順次確認できます。表示順は以下の通りです。

VIDEO LEVEL→Y LEVEL→C LEVEL→SETUP/BLACK→HUE→  
WHITE LEVEL R→WHITE LEVEL G→WHITE LEVEL B→  
BLACK LEVEL R→BLACK LEVEL G→BLACK LEVEL B→  
GAMMA LEVEL R→GAMMA LEVEL G→GAMMA LEVEL B

コレクションモードが **SEPIA** モード時に **SELECT** ボタンを押すと設定内容が順次確認できます。表示順は以下の通りです。

VIDEO LEVEL→Y LEVEL→SEPIA LEVEL→SETUP/BLACK→SEPIA COLOR→  
→GAMMA LEVEL G

### 5-7-2. クリップモード時

---

クリップモードが、**RGB** モード時に、**SELECT** ボタンを押すと設定内容が順次確認できます。表示順は以下の通りです。

RGB WHITE CLIP→RGB BLACK CLIP

クリップモードが、**YPbPr** モード時に、**SELECT** ボタンを押すと設定内容が順次確認できます。表示順は以下の通りです。

Y WHITE CLIP→CHROMA CLIP→Y BLACK CLIP

クリップモードが、**Composite (VBS)** モード時に、**SELECT** ボタンを押すと設定内容が順次確認できます。表示順は以下の通りです。

Composite WHITE CLIP→Composite BLACK CLIP

#### 注意

**SELECT** ボタンを押すと、設定内容が順次表示され、最後まで表示すると頭に戻って表示されます。表示の途中でコントロールで変更した場合、変更内容が表示されます。その後、**SELECT** ボタンを押すと表示順の次の設定内容が表示されます。

例) **SELECT** ボタンを押し、**Y LEVEL** 表示中 (YL 100%) に、**SETUP/BLACK** を調整すると、**SB 10%** と表示されます。その後、**SELECT** ボタンを押すと、**HUE 0°** と表示されます。

## 6. イベントメモリの使い方

### 6-1. メモリについて

DCC-NETOU は、全ての設定をイベントメモリに書き込み、必要に応じて呼び出すことができます。イベントメモリは、設定を 99 (1-99) イベントまで保存することができます。

### 6-2. イベントデータの保存

各コントロールの設定が終了したら、以下の手順で保存操作を行います。

- (1) **SAVE** ボタンを押します。ボタンを押すとピッと鳴り、イベントメモリナンバーを点滅表示します。保存操作をキャンセルしたいときは、**CLEAR** ボタンを押します。
- (2) **-**、**+** ボタンで **SAVE1**~**99** のメモリナンバーを設定します。ボタンを押す毎にピッと鳴り、**+** ボタンで 1 つ進み、**-** ボタンで 1 つ戻ります。押し続けると、速くナンバーが変わります。**+** ボタンと **-** ボタンを同時に押すと、メモリナンバーが 1 になります。
- (3) **SAVE** ボタンを押します。ボタンを押すとピッと鳴り、イベントメモリナンバーが点灯表示すると同時に、データが保存されます。
  - **CLEAR** ボタンを押すと、イベントメモリナンバーの表示が消えます。
  - 設定値を保存した後にどれか 1 つでも設定を変更すると、イベントメモリナンバーの表示が消えます。

以下の項目はイベントメモリに保存されません。

**注意**      • **BYPASS/OPERATE**      • **INPUT**      • **GRP ADJ**  
             • **CC1/CC2**                • **SPLIT**

### 6-3. イベントデータの読み出し

以下の手順で読み出し操作を行います。データを読み出すと、前の設定値が消えてしまうのでご注意ください。

- (1) **LOAD** ボタンを押します。ボタンを押すとピッと鳴り、イベントメモリナンバーが点滅表示します。読み出し操作をキャンセルしたいときは、**CLEAR** ボタンを押します。
- (2) **-**、**+** ボタンで **LOAD0**~**99** のメモリナンバーを設定します。(0 を設定すると、すべての設定値がユニティで読み出されます。) ボタンを押す毎にピッと鳴り、**+** ボタンで 1 つ進み、**-** ボタンで 1 つ戻ります。**+** ボタンと **-** ボタンを同時に押すと、メモリナンバーが 0 になります。
- (3) **LOAD** ボタンを押します。ボタンを押すとピッと鳴り、イベントメモリナンバーが点灯表示すると同時に、データが読み出されます。
  - **CLEAR** ボタンを押すと、イベントメモリナンバーの表示が消えます。
  - 設定値を読み出した後にどれか 1 つでも設定を変更すると、イベントメモリナンバーの表示が消えます。

## 7. ネットワークアドレス/バージョン確認

GROUP ADJ ボタンを長押しすると、ネットワークアドレスとバージョン情報が確認できます。GROUP ADJ ボタンを長押しするとピッと鳴り、ネットワーク/バージョン確認モードになります。LED ディスプレイに「I192.168.0.100」がスクロール表示されます。VIDEO LVL を右に回すと順次下記内容が表示されます。

I192.168.0.100  
↓  
S255.255.255.0  
↓  
G0.0.0.0  
↓  
DSP Ver:1.00  
↓  
FPGA Ver:1.02  
↓  
FRONT Ver:1.00

左に回すと表示内容が戻ります。  
再度 GROUP ADJ ボタンを押すと通常状態にもどります。

項目	説明
I192.168.0.100	IP Address
S255.255.255.0	Subnet Mask
G0.0.0.0	Default Gateway
DSP Ver:1.00	DSP バージョン
FPGA Ver:1.02	FPGA バージョン
FRONT Ver:1.00	FRONT CPU バージョン

ネットワークアドレスを変更するには、「4-3-2. Network Setting ページ」を参照してください。

### 注意

ネットワーク/バージョン確認モード中は、確認以外の操作はできません。

## 8. 設定の初期化

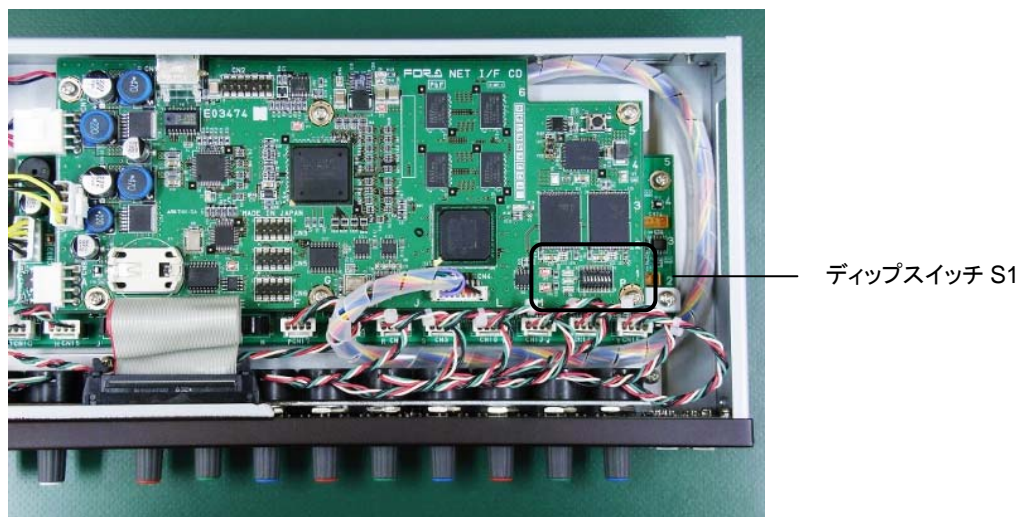
DCC-NETOU のブラウザ設定画面にログインするときに、ユーザー名やパスワードを忘れてしまった場合は、DCC-NETOU を初期化して、初期設定でログイン後、新たにユーザー名とパスワードを設定してください。

**注意** 設定してある状態は初期化されますので、十分注意して実施してください。

### 8-1. 初期化方法

- (1) DCC-NETOU の電源を OFF にします。
- (2) DCC-NETOU の天板を開けます。
- (3) 初期化する内容に応じてディップスイッチ S1 を変更します。

ネットワーク設定、ログイン設定を初期化する場合： S1-1 を ON  
接続先の設定を初期化する場合： S1-2 を ON  
イベントメモリを初期化する場合： S1-3 を ON



ディップスイッチ S1	初期化内容
1	ネットワーク設定・ログイン設定
2	接続先設定
3	イベントメモリ
4	使用しません。(必ず OFF にしてください)
5	使用しません。(必ず OFF にしてください)
6	使用しません。(必ず OFF にしてください)
7	使用しません。(必ず OFF にしてください)
8	使用しません。(必ず OFF にしてください)

- (4) DCC-NETOU の電源を ON にします。
- (5) 選択した設定項目が初期化されます。
- (6) 初期化が完了すると、ピッと鳴り操作可能な状態になります。
- (7) DCC-NETOU の電源を OFF にし、ディップスイッチを全て OFF に戻します。
- (8) DCC-NETOU の天板を閉めます。

## 9. 仕様および外観図

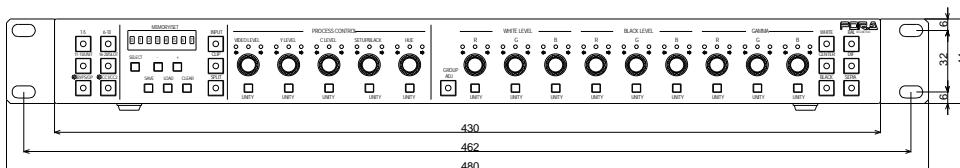
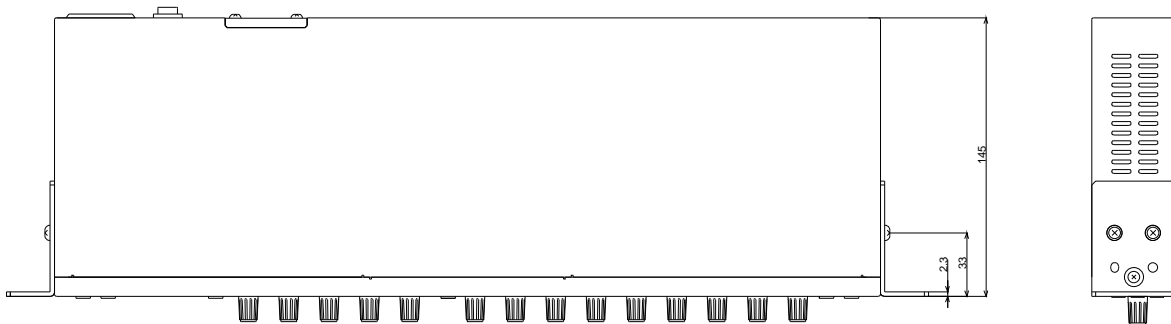
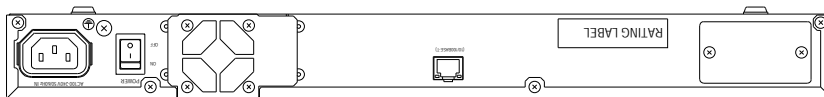
### 9-1. 仕様

インターフェース

LAN	10/100BASE-TX、RJ-45、1ポート	
使用温度	0°C - 40°C	
湿度	30% - 90% (結露のないこと)	
電源	AC100V - 240V ±10%、50/60Hz	
消費電力	18VA (10W) (AC100V 供給時) 24VA (12W) (AC200V 供給時)	
外形寸法	430 (W) x 44 (H) x 145 (D) mm	
質量	約 2.2kg	
消耗部品 (常温 24 時間使用時)		
	電源 : JBW12-1R3	交換時期 5 年
	冷却ファン : P-1436	交換時期 5 年

### 9-2. 外観図

(寸法単位 mm)



**FOR.A**<sup>®</sup>  
INNOVATIONS IN VIDEO  
and AUDIO TECHNOLOGY

# 保証書

型名（製品名）	DCC-NETOU
シリアル番号	
ご購入日	
保証期間	<b>ご購入日から1年間</b>
ご購入店名	
ご住所	
TEL	
お名前	

保証期間中、通常のお取り扱いにおいて発生した故障は無料修理いたします。  
お取り扱い上の不注意、天災による損傷の場合は実費をいただきます。  
ご自分で修理・調査・改造されたものは、保証いたしかねる場合があります。  
保証期間内に故障の節は本保証書をご提示の上、ご購入店または最寄りの弊社営業所にご用命ください。  
この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

**株式会社 朋栄**

本社 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3丁目8番1号

## サービスに関するお問い合わせは

**FOR.A**<sup>®</sup>  
INNOVATIONS IN VIDEO  
and AUDIO TECHNOLOGY

24h  
365 days サービスセンター  
**03-3446-8575**

## 株式会社 朋栄

本 社	〒150-0013	東京都渋谷区恵比寿 3-8-1	Tel:03-3446-3121 (代)
関西支店	〒530-0055	大阪市北区野崎町 9-8 永楽ニッセイビル 8F	Tel:06-6366-8288 (代)
札幌営業所	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2011 (代)
東北営業所	〒980-0021	仙台市青葉区中央 2-10-30 仙台明芳ビル	Tel:022-268-6181 (代)
中部・北陸営業所	〒460-0003	名古屋市中区錦 1-20-25 広小路 YMD ビル	Tel:052-232-2691 (代)
中国営業所	〒730-0012	広島市中区上八丁堀 5-2 KM ビル	Tel:082-224-0591 (代)
九州営業所	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通 2-4-8 福岡小学館ビル	Tel:092-731-0591 (代)
沖縄営業所	〒900-0015	沖縄県那覇市久茂地 3-17-5 美栄橋ビル	Tel:098-860-4178 (代)
佐倉研究開発センター	〒285-8580	千葉県佐倉市大作 2-3-3	Tel:043-498-1230 (代)
札幌研究開発センター	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2018 (代)

その他のお問い合わせは、最寄りの営業所にご連絡ください。